

## 福島潟鳥獣保護区の概要

### ● 拡張理由

○こうした自然環境を背景として、オオヒシクイやコハクチョウ等の渡り鳥の利用が見られ、渡り鳥の集団飛来地として適切に保護する必要があるため。

### 鳥類生息状況調査結果(一部抜粋)

(平成27年1月11日実施分)

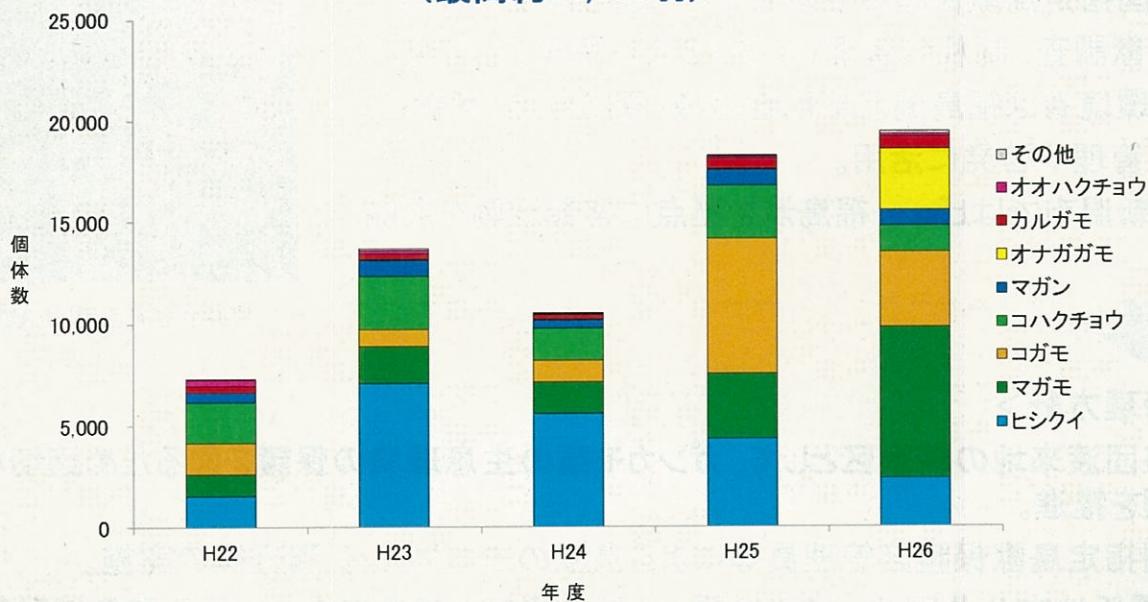
種名	拡張後鳥獣保護区全体(A)	拡張区域(B)	拡張区域生息割合(B/A)
マガソ	788	156	19.7%
オオヒシクイ	1,789	233	13.0%
コハクチョウ	763	35	4.5%
オオハクチョウ	144	119	82.6%
コガモ	3,681	258	7.0%

※環境省鳥獣保護区管理員による調査



## 福島潟鳥獣保護区の概要

福島潟におけるガンカモ類の各年度の最高個体数の平均は、約12,000羽で推移  
(最高約19,000羽)



※環境省ガンカモ類の生息調査(通称「全国ガンカモ一斉調査」)

## 福島潟鳥獣保護区の概要

オオヒシクイの渡来は、約5,700羽(H21～25年度平均)で、  
東アジア地域個体群1%(205羽)以上



オオヒシクイ(準絶滅危惧)

<オオヒシクイの渡来数>

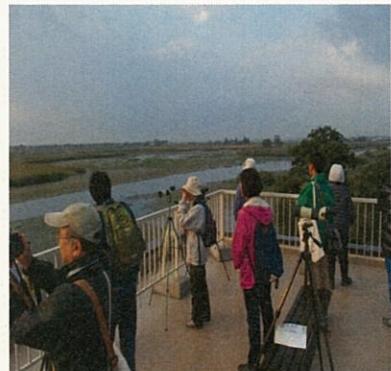
年度	H21	H22	H23	H24	H25
渡来数	3,966	3,710	7,063	7,200	6,553

※環境省モニタリングサイト1000: ガンカモ類調査

## 福島潟鳥獣保護区の概要

### ●現在の管理等状況

- ・国指定鳥獣保護区管理員2名による巡視及び鳥獣調査、制札の管理(年間78人日程度)を実施。
- ・環境省は福島潟北部に管理棟「雁晴れ舎」整備し、管理や啓発に活用。
- ・新潟市ではビュー福島潟を拠点に啓発活動を展開。



雁晴れ舎を活用した観察会

↓  
<管理方針>

- 集団渡来地の保護区として、ガンカモ類の生息環境の保護を図るため適切な管理を推進。
- 国指定鳥獣保護区管理員等による鳥獣のモニタリング調査等の実施。
- 関係地方公共団体、関係機関、地域住民等と連携協力した普及啓発活動等。
- 違法捕獲防止や制札の維持管理のための定期的な巡視の実施。
- 国指定鳥獣保護区管理棟「雁晴れ舎」等を活用した環境学習の場としての活用。

## 公聴会の実施結果

- 開催日：平成27年10月6日(火)
- 場所：新潟県新潟市 水の駅 ビュー福島潟
- 公述人：13名(本人出席6名、代理出席5名、欠席2名)
- 意見：賛成13名、反対0名

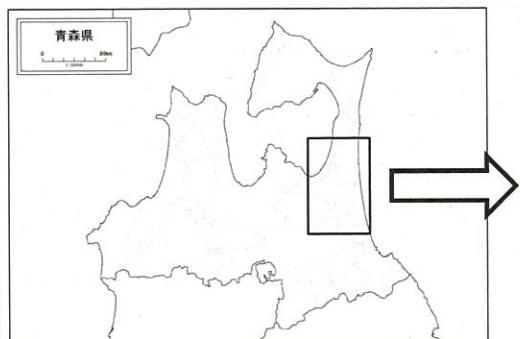
### <主な意見>

- 土地改良事業や治水事業に支障が及ぶことがないようにして欲しい。
- 現状では、ラムサール条約登録は困難であると認識しているが、将来的な登録を目指して野鳥の保護活動を進めていきたい。

# 仏沼鳥獣保護区

## 仏沼特別保護地区の再指定について

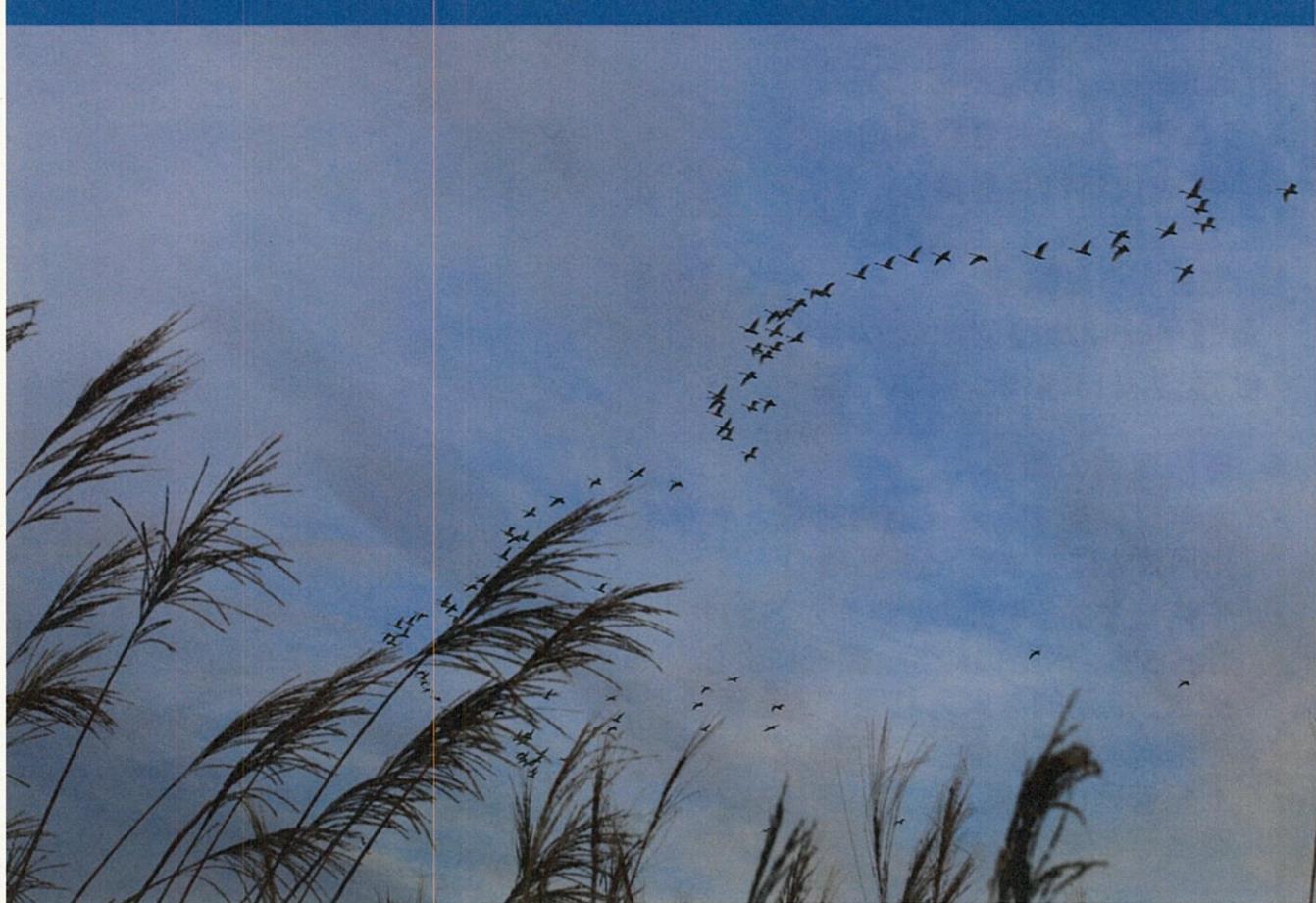
[仏沼鳥獣保護区(737ha)]  
仏沼特別保護地区(222ha)



### 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要



# 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要



## 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要

### ● 位置

青森県三沢市

### ● 面積

特別保護地区 222ha(再指定)

### ● 存続期間

平成27年11月1日から

平成47年10月31日まで(20年間)

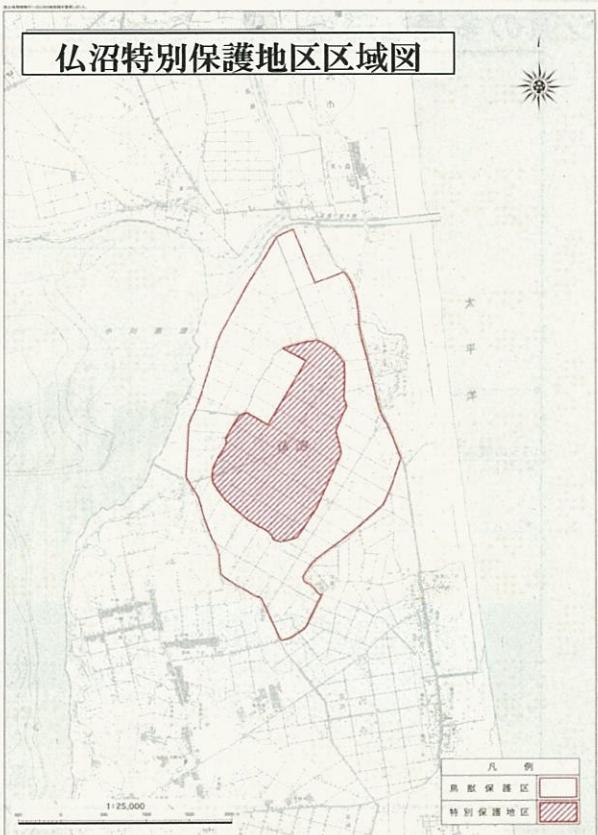
### ● 指定区分

#### 希少鳥獣生息地

希少鳥類の繁殖地として重要な  
干拓地

(オオセッカ、オオヨシゴイ、コジュ  
リン、シマクイナ)

仏沼特別保護地区区域図



●

# 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要

## ● 他法令による規制区域等

- ・ラムサール条約登録湿地  
(平成17年11月登録)

## ● 生息する鳥獣

鳥類: 49科225種(オオセッカ等)  
獣類: 7科13種(ホンドタヌキ等)

## ● 自然環境の概要

- ・ 太平洋に面する淋代海岸砂丘と小川原湖とに挟まれた干拓地
- ・ 干拓地であるものの、耕作が行われておらず、水路の維持、機械による排水、定期的な火入れ等による管理が実施されている
- ・ 上記管理の結果、草丈が多様なヨシ群落等となっている。

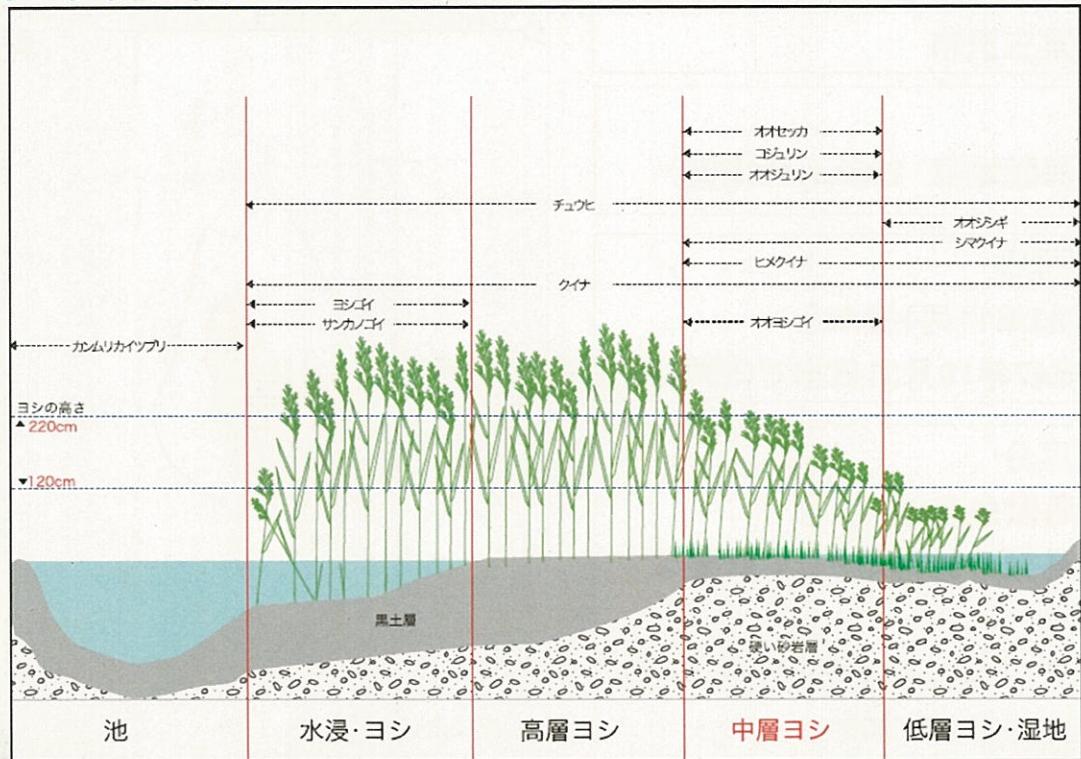


## ● 法第32条の規定に基づく補償

- ・ 同条の規定にある損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失を補償することとなる。

# 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要

ヨシ原の多様な環境に応じた多様な希少鳥類が生息し、繁殖が確認されている



特定非営利活動法人 おおせっからんど 提供

## 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要



オオセツカ

(絶滅危惧 IB類、国内希少野生動植物種)

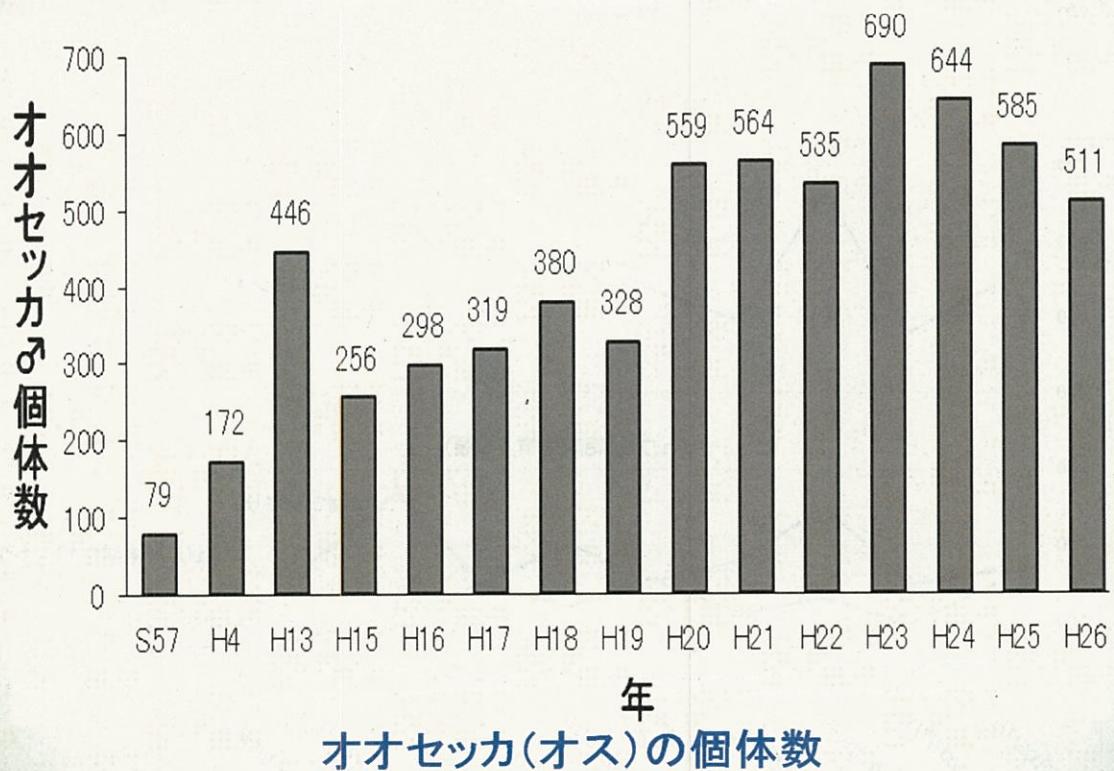


火入れの様子

- オオセツカの個体数は全国で2,500羽程度と推定。
- 主要な繁殖地は仏沼の他、岩木川、利根川下流域、八郎潟等。
- 仏沼はオオセツカの代表的な繁殖地。

(環境省編2014「レッドデータブック2014日本の絶滅のおそれのある野生生物2鳥類」)

## 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要



## 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要



シマクイナ(絶滅危惧 I B類)



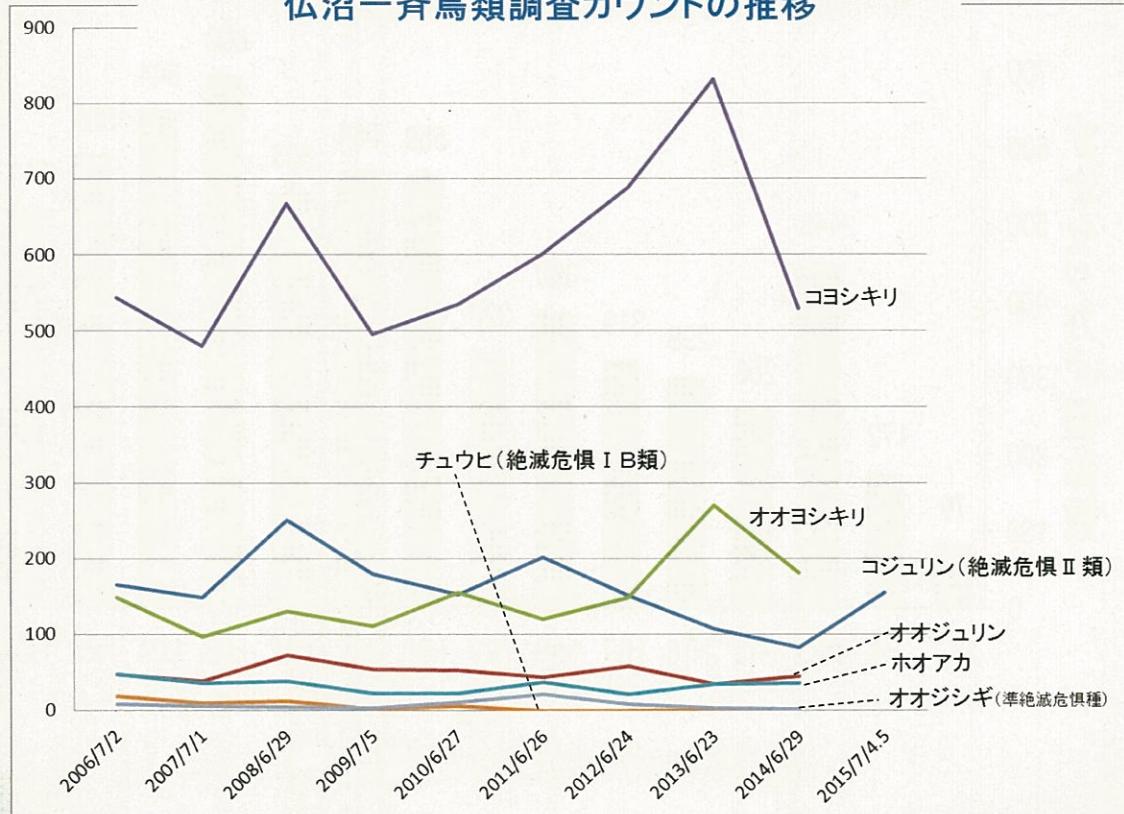
コジュリン(絶滅危惧 II類)



チュウヒ(絶滅危惧 I B類)

## 仏沼鳥獣保護区仏沼特別保護地区の概要

### 仏沼一斉鳥類調査カウントの推移



データ提供:特定非営利活動法人 おおせっからんど

## 仮沼鳥獣保護区仮沼特別保護地区の概要

### ●前回指定時(平成17年～)からの管理等状況

- ・国指定鳥獣保護区管理員1名による巡視及び鳥獣調査、制札の管理(年間80人日程度)を実施。
- ・当該鳥獣保護区は、水路の維持、ポンプによる排水、定期的な火入れ等の管理により維持されている。
- ・近年、ウシガエルの侵入が確認されており、地元特定非営利活動法人おおせっからんどと協力しながら、駆除事業等を実施している。



### <管理方針>

- 希少鳥獣生息地の保護区として、オオセッカをはじめとする希少鳥類の生息環境の保護を図るために適切な管理を推進。
- 国指定鳥獣保護区管理員等による鳥獣のモニタリング調査等の実施。
- 関係地方公共団体、関係機関、地域住民等と連携協力した普及啓発活動等。
- 違法捕獲防止や制札の維持管理のための定期的な巡視の実施。

33

## 公聴会の実施結果

- 開催日：平成27年10月6日(火)
- 場所：青森県三沢市 三沢市役所第会議室
- 公述人：8名(本人出席1名、代理出席4、欠席3名)
- 意見：賛成8名、反対0名

### <主な意見>

- 圃場整備や道路事業の実施に支障は無く、国内希少野生動植物種であるオオセッカ、国指定天然記念物のオジロワシ、オオワシの生息が確認されており、指定に賛成する。
- 希少鳥類の生息環境を保全するため、大型ポンプの稼働を維持していただきたい。
- 当該鳥獣保護区は国内最大のオオセッカの繁殖地であり、生息する動植物の多様な種、希少な種を維持するために仮沼の管理に努めていただきたい。

●34